

参勤交代北山道 高知城下から丸亀本陣まで

(参考資料 土佐の道 その歴史を歩く 他)

- ・土佐第10代藩主山内豊策公(寛政元年(1789年))、から、この道を参勤交代に使ったと伝えられる。
- ・カゴたて、カシの休場、腹包丁など大名行列に因んだ地名が今も残っている。

- ・高知城
- ・布師田本陣(ぬのしだほんじん)

高知城を出発して1日目の宿泊地。

- ・領石(りょうせき)
- ・穴内(あなない)
- ・本山本陣(もとやまほんじん)

高知城を出発して2日目の宿泊地。

- ・下関(しもぜき)
- ・葛原(かずらわら)
- ・川口(かわぐち)
- ・立川番所(たじかわばんしょ) 【高知県大豊町立川下名】

高知城を出発して3日目の宿泊地。

立川番所院は、昭和49年国指定重要文化財に指定された。

昭和55年より3ヶ年をかけて解体復元工事がとり行われた。

- ・笹ヶ峰(ささがみね) 【新宮村／高知県大豊町】
- ・杖立地蔵(つえたてじぞう) 【新宮村】
- ・七曲り 【新宮村】
- ・水無峠(みずなしとうげ) 【新宮村】

登りのとき下士の休場であった。

- ・笠取峠(かさとりとうげ) 【新宮村】

笠を取って風を入れる。

- 腹包丁（はらぼうちょう）【新宮村】

刀を腹に回して急坂を登る。

- 下り付（おりつき）【新宮村】
- 青木の泉（あおきのいずみ）【新宮村】
- 梅の泉（うめのいずみ）【新宮村馬立柿の下】

参勤交代時には土佐藩主専用の泉であった。
この泉の上に梅の古木があったので「梅の泉」と称されるようになった。

- 堂成札場（どうなるふだば）【新宮村】

高札場所、荷継ぎ場であった。

- 馬立本陣（うまだてほんじん）【新宮村】

高知城を出発して4日目の宿泊地。

- 新宮渡し（しんぐうわたし）【新宮村】

参勤交代のときは、船橋にして通過した。

- 不動堂（ふどうどう）【新宮村】
- 一升水（いっしょうみず）【新宮村】

不動坂、朝日坂を登って茶屋に至る。

- 水ヶ峰（みずがみね）【新宮村】

道中の乾いた喉を潤す冷たい清水が湧出する。

- 横峰（よこみね）【新宮村】

法皇山脈の横峰を越えると上分に出る。

- 平山（ひらやま）【川之江市】

峠に茶屋があった。

- 槍下の松（やりさげのまつ）【川之江市】

- 川関（かわせき）【川之江市】

金生川関所。

- 川之江本陣（かわのえほんじん）【川之江市】

高知城を出発して5日目の宿泊地。

- 和田浜（わだはま）【香川県】

和田浜宗林寺にて小休止する。

- 仁尾（にを）【香川県仁尾町】

参勤交代初期の北山越の終点。

- 勝馬（かつま）【香川県】

勝馬久原寺にて小休止する。

- 府中（ふちゅう）【香川県】

丸亀本陣（まるがめほんじん）【香川県丸亀市】